

令和6年度事務事業評価（令和5年度事後評価）

選挙管理委員会

所属名	事業3名	ページ番号
選挙管理委員会事務局	選挙啓発事業	2
選挙管理委員会事務局	県議会議員選挙執行費	3

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	選挙啓発事業	事業期間	昭和 51 ~ 年度
担当部署・係名	選挙管理委員会事務局	担当課長名	松本 雅行
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	日常において、選挙啓発を行うことで政治への関心を高め、明るく正しい選挙への意識の向上を図る。特に、将来有権者となる世代を対象として、政治に関心を持ち、選挙に関する知識を得るきっかけ作りを行う。				
事業の対象者	佐賀市の有権者及び今後有権者になる者				
令和5年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、高等学校を対象とした明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施 ・主権者教育事業（中学校、高等学校等で行われる生徒会役員選挙の際の、投票箱、記載台の貸し出し及び出前講座）の実施 ・満18歳に到達した新有権者への啓発チラシの送付 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	497	548	458	520	
うち佐賀市の負担額	497	548	458	520	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ポスター応募作品点数						点
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60	70 121	80 219	85 46	90		

成果指標②						単位
主権者教育を実施した高校の延べ数（R2は参考値）						校
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	4 1	6 2	8 7	13		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	ポスター応募数については、令和4年度は学級単位で取り組んでくれた学校があったが、令和5年度は個人での応募のみだったため減少した。しかし、主権者教育については、コロナ禍が明け、事務局から学校へ積極的に依頼を行ったこともあり、大きく実績を伸ばすことができた。

成果目標達成に向けた対応策等

今後も、より積極的に直接学校に出向き、ポスターコンクールへの応募や主権者教育等への依頼を行い、将来有権者となる世代が政治等に関心を持つきっかけ作りとなるように働きかけていく。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	県議会議員選挙執行費	事業期間	令和 4 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	選挙管理委員会事務局	担当課長名	松本 雅行
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	任期満了（令和5年4月29日）による県議会議員選挙の執行				
事業の対象者	佐賀市の有権者及び佐賀県議会議員選挙立候補者				
根拠法令等	公職選挙法、公職選挙法施行令				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			14,117	44,790	
うち佐賀市の負担額			593	0	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
投票所設置数（期日前投票を含む）					箇所
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		0	55		

活動実績②					単位
市報さが選挙特集号の作成数					冊
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		107,000	0		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

公職選挙法等に基づき、令和4年度に選挙の管理執行（期日前及び当日投票所の設置等）のための準備、選挙啓発（市報選挙特集号作成等）を行った。また、令和5年4月9日投開票日であり、期日前投票は令和5年4月1日から開始となっていたため、期日前及び当日投票所の設置等の選挙の管理執行を令和5年度に行った。公平、公正な選挙の執行に今後も努めていく。